

平成25年度 事業報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 総括

今年度は昨年度に引き続き低金利による基本財産運用益の減少が予測されたことから、大阪ガス株式会社より寄附を受けるとともに、いわゆるアベノミクスの影響による円安効果により為替連動債券で年初の予測を上回る利金収入が発生したため、当初予定した規模をやや上回る活動を実施することができた。一方で、円安効果を楽しんだ米ドル為替連動債券が円安の進捗により早期償還となったため、財産運用管理委員会の助言を受けて買換えを実施した。

財団の事業活動については、公益法人としてより公益性、公平性に留意するとともに、効率的・効果的な事業運営に努めた。

2. 事業の執行

(1) 助成事業

平成25年7月1日から9月15日の期間で募集を行い、その応募案件についての助成選考委員会を平成26年1月10日に開催して審議・選考した。これを平成26年3月14日開催の理事会にて承認・可決して実施した。

①高年齢者福祉助成

近畿2府4県および4政令指定都市の社会福祉協議会を通じて募集を行うとともに財団ホームページにも掲載し、140件(対前年比118%)、金額2,434万円(同136%)の応募があり、この全数について事務局によりヒアリングを実施した。

選考に際しては、高齢社会における福祉活動の広がりや、地域に密着したボランティア活動の重要性に鑑み、応募団体の活動がより成果を上げられるよう、また幅広く応えられるように配慮し、112件、1,612万円の助成を選考した。

②調査・研究助成

近畿2府4県の大学、病院および各社会福祉協議会等に対して募集を行い、49件(対前年比122%)、金額4,643万円(対前年比133%)の応募があった。

選考に際しては、「テーマの重要性」、「研究方法の適切性」、「成果への期待度」などの観点から審査を行い、「福祉の向上」部門で5件、「健康の維持・増進」部門では10件、「分野横断的な課題」部門では5件の合計20件、1,861万円の助成を選考した。

＜表A＞助成の応募と選考結果

(各欄のカッコ内は、平成24年度実績)

		応募		採択	
		件数(件)	金額(万円)	件数(件)	金額(万円)
高齢者福祉助成		140 (118)	2,434 (1,788)	112 (96)	1,612 (1,309)
調査・研究助成	福祉の向上	9 (5)	860 (334)	5 (3)	476 (196)
	健康の維持・増進	28 (28)	2,645 (2,546)	10 (12)	945 (1,084)
	分野横断的課題	12 (7)	1,138 (605)	5 (3)	440 (230)
合計		189 (158)	7,077 (5,273)	132 (114)	3,473 (2,819)

(2) 健康事業

高齢者の健康の増進を図る健康事業は、「健康のつどい」を中心に、その他の財団主催の各事業も従来どおりの事業規模で実施した。

- ①11種類の健康増進のためのメニューを高齢者の集まりに出前型で提供する「健康のつどい」は 延べ188回開催した。
- ②各分野の専門の医師等が講師となり、オリジナルのテキストとスライドを用いて、高齢者にもわかりやすく工夫を凝らした健康講話を行う「健康づくり教室」は延べ6回実施した。
- ③高齢者の健康に配慮した料理づくりの実習を行う「健康づくり料理講習会」は、大阪ガスクッキングスクール（7拠点）で昨年度より2回多い延べ30回開催した。
- ④「ウォーキング大会」、「歴史講座」も雨天にもかかわらず例年どおりの規模で開催することが出来た。

詳細な実施の状況は2ページの＜表B＞を参照されたい。

＜表B＞健康事業の実施状況

	平成25年度実績		平成25年度計画	
	回数	人数	回数	人数
健康のつどい	188回	10,151人	190回	11,000人
健康づくり教室	6回	1,383人	6回	1,350人
健康づくり料理講習会	30回	887人	30回	900人
ウォーキング大会	2回	3,155人	2回	3,000人
歴史講座他	4回	1,040人	2回	400人
合計	230回	16,616人	230回	16,650人

3. 適正な業務の執行を行うための状況

(1) 財産運用管理委員会の診断

平成24年度に設置した財産運用管理委員会を本年度も平成26年1月に実施し、財産の管理及び運用の適正化をはかり、所有債券の診断及び今後の買換え時の購入指針の提言を受けた。また、今期の早期償還債券の買換え対応についても助言を受けた。

①所有債券の診断結果

ア) 債券の分散投資はできている。

イ) 投資先の格付けはシングルA以上が殆どで優れているが、購入以降BBBとなったものも一部ある。残存期間が10年を超える長期の債券が多く、金融機関の発行債券が多い。

ウ) 為替連動型金利の債券が27%から18%へ減少し変動リスクは昨年より低減している。

エ) 円安化によって全体の金利は昨年同期（為替80円/\$）の2.29%から2.47%（為替100円/\$）と上昇。円安がさらに進行すれば金利は上昇するが期限前早期償還となる可能性がある。

オ) 為替水準が65円/\$を下回れば元本割れのリスクがある。

⇒今後の方向性

○市場の変動に過度な影響を受ける偏りを是正するため、いましばらくは満期償還時の買換えの際に段階的にバランスのとれたポートフォリオへの移行をはかっていく。

Ex. 国債、国内非金融機関債券などへの移行

②買い換え対応への助言

ア) 期限前償還への対応

2月7日にBNPパリバ銀行の債権1億円が期限前償還になったため、以下の債券を購入。

第9回利付国債（30年）

金額：1億円、残存期間：18.7年、利率：1.3%

イ) 満期償還への対応

3月19日 旧三和銀行社債1億円が満期償還となったため、以下の債券を購入。

第10回利付国債（30年）

金額：9,521万円、残存期間：19年 利率：1.3%

(2) 寄附のお願いの実施

一般からの寄附金を募るべく、当財団のホームページに寄附のお願いを掲載継続するとともに、グループ従業員への寄附のお願いを平成26年1月に大阪ガスの社内ポータルへ掲載した。

4. 収支状況

(1) 収入

基本財産の利息収入は5,499万円となり、年間運用利回りは2.5%（前年度2.5%）となった。予算より増加したのは円安基調による為替連動債券の利金増加によるものである。

また、財団活動用の資金として、大阪ガス株式会社より3,000万円の寄附金を受けた。この結果、当期収入合計は8,520万円となった。

(2) 支出

支支出総額は9,183万円であり、その内訳は事業費8,432万円（構成比 91.8%）、管理費751万円（同8.2%）となり、予算8,378万円に対する執行率は109.6%となった。

(3) 当期収支

当期収支差額は663万円の赤字となり、この結果、次期繰越収支差額は3,209万円となる。

<表C> 平成25年度収支決算の概要〔費用配賦後〕

（平成25年4月1日～平成26年3月31日実績）

（千円）

		平成25年度 予算 (A)	平成25年度 実績 (B)	差 額 (B) - (A)
収 入	基本財産利息収入	52,603	54,991	2,388
	雑収入	15	211	196
	小計	52,618	55,202	2,584
	寄付金収入	30,000	30,000	0
	当期収入合計	82,618	85,202	2,584
支 出	助成事業費	41,397	45,199	3,802
	健康事業費	36,108	39,117	3,009
	管理費	6,278	7,512	1,234
	当期支出合計	83,783	91,827	8,044
当期収支差額		△1,165	△6,625	△5,460
有価証券評価損		0	0	0
最終当期収支差額		△1,165	△6,625	△5,460
前期繰越収支差額		38,717	38,717	0
次期繰越収支差額		37,552	32,092	△5,460

5. 財産の運用及び管理等

(1) 寄附金の受領

①大阪ガス株式会社より平成25年4月25日に次のとおり寄附金を受領

- ・寄附金の金額

3,000万円

・ 寄附金の使途

80%の2,400万円を公益目的事業として使用

20%の600万円を法人会計管理費として使用

(2) 債券の購入

①平成25年度は満期保有債券のうち、2億円の債券が償還（一部早期償還）になり、5ページの<表D>のとおり買換えを実施した。

<表D> 償還債券と買換え後債券一覧

満 期 日	2014. 02. 07 (期限前早期償還)	2014. 03. 19
満 期 の 債 券	BNPパリバ銀行	第10回旧三和銀行社債
額 面	1億円	1億円
利 率	米ドル連動	1.6%
買 換 後 の 債 券	第9回利付国債 (30年)	第10回利付国債 (30年)
購 入 時 の 格 付	AA (S&P)	AA (S&P)
購 入 価 格	10,150万円	9,521万円
実 質 利 率	1.3%	1.3%
満 期 日	2032. 02. 20	2033. 03. 20
証 券 会 社	野村證券	三菱UFJ モルガンスタンレー証券

6. 総務事項

(1) 理事会の開催

①第7回定例理事会 平成25年5月16日 大阪ガス本社ビル

<審議事項>

- ・ 第1号議案 平成24年度事業報告および決算
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)
- ・ 第2号議案 平成25年事業計画及び収支予算の修正
- ・ 第3号議案 助成選考委員の選任
- ・ 第4号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項

<報告事項>

- ・ 報告第1号 理事長および専務理事の職務の執行状況について
審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

②第8回定例理事会 平成26年3月14日 大阪ガス本社ビル

<審議事項>

- ・ 第1号議案 平成25年度高齢者福祉助成選考結果及び平成25年度調査・研究助成

の選考結果

- ・第2号議案 平成26年度事業計画、収支予算及び資金調達並びに設備投資の見込み（平成26年4月1日～平成27年3月31日）
- ・第3号議案 常勤役員の報酬等の決定

<報告事項>

- ・報告第1号 理事長及び専務理事の職務の執行状況について
 - ・報告第2号 大阪ガス株式会社から寄附を受ける件
- 審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

(2) 評議員会の開催

①第4回定時評議員会 平成25年6月11日 大阪ガス本社ビル

<議事>

- ・報告第1号 平成24年度事業報告（報告事項）
 - ・報告第2号 大阪ガス株式会社からの寄附について（報告事項）
 - ・報告第3号 平成25年度事業計画および収支予算（報告事項）
（平成25年4月1日～平成26年3月31日）
 - ・第1号議案 平成24年度決算の計算書類及び財産目録（審議事項）
（平成24年4月1日～平成25年3月31日）
 - ・第2号議案 理事の選任（審議事項）
 - ・第3号議案 評議員の選任（審議事項）
- 審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

(3) 助成選考委員会の開催 平成26年1月10日 ホテルグランヴィア大阪

- ・第1号議案 平成25年度 調査・研究助成の助成先選考
 - ・第2号議案 平成25年度 高齢者福祉助成の助成先選考
- 以上の選考及び審議を行った。

(4) 役員等の人事

①理事の選任

- ・平成25年6月11日開催の第4回定時評議員会において、次のとおり理事1名を選任した。

理事 奈倉 道隆 氏

②評議員の選任

- ・中井 稔評議員及び三浦 伸一評議員が退任のため、平成25年6月11日開催の第4回定時評議員会において、次のとおり評議員2名を選任した。

評議員 奥村 安正 氏

評議員 中谷 賀典 氏

(5) 官庁関係

①平成25年6月13日

- ・法務局へ登記（理事及び評議員の選任の登記）

②平成25年6月17日

- ・内閣府へ事業報告等の提出（電子申請）1300195178

③平成25年6月21日

- ・内閣府へ役員等の変更の届出を実施（電子申請）1300103447

④平成26年3月17日

- ・内閣府へ事業計画書等の提出（電子申請）1400117893

以上